



平成 18 年 4 月 28 日

各 位

大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号 東洋紡ビル
ヴィンキュラム ジャパン株式会社
代表取締役社長 ト部 邦彦
(J A S D A Q ・ コード番号 : 3784)
問い合わせ先 取締役管理部長 足立 金治
TEL 06-6348-8951

社内ベンチャー制度による新会社設立について

当社は、本日、社内ベンチャー制度である（VJCベンチャープログラム）により、新会社「株式会社 4U Applications」（呼称：フォーユー アプリケーションズ、社長 久下 雅幸）の設立を決定いたしましたのでお知らせいたします。

1 . 添付資料 「社内ベンチャー制度による新会社設立について」

なお、当社の業績に与える影響は軽微であります。

以 上

2006年4月28日

報道関係各位

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

社内ベンチャー制度による新会社設立について

当社は、本日、社内ベンチャー制度（VJCベンチャープログラム 以下、VVPという。）の適用第1号として、新会社「株式会社 4U Applications」（呼称：フォーユー アプリケーションズ、社長 久下 雅幸）の設立を決定いたしましたのでお知らせいたします。

新会社は、ユビキタス社会において重要な位置付けにある情報端末（PDA、携帯電話等）と企業システムとの連携を主軸に、先端的な技術を活用したパッケージソフトウェアの研究開発、販売を行います。

新会社「株式会社 4U Applications」の概要以下のとおりです。

【新会社の概要】

- | | | | |
|-----------|--|-----------------|--|
| (1) 会社名 | 株式会社 4U Applications
(呼称：フォーユー アプリケーションズ) | | |
| (2) 会社所在地 | 東京都墨田区 | | |
| (3) 設立日 | 平成18年5月11日 | | |
| (4) 事業内容 | 情報端末向けのソフトウェア研究開発及びパッケージソフトウェア販売 | | |
| (5) 資本金 | 50,000千円 | | |
| (6) 株主構成 | ヴィンキュラム ジャパン株式会社 | 90% | |
| | 久下 雅幸 | 5% | |
| | 速水 誠 | 5% | |
| (7) 役員 | 代表取締役 | 久下 雅幸 (提案者) | |
| | 取締役 | 速水 誠 | |
| | 取締役 (非常勤) | 城田 正昭 (当社専務取締役) | |
| | 監査役 (非常勤) | 赤木 孝一 (当社社員) | |

(8) 売上見込	平成18年度	14,040千円 (経常利益	35,090千円)
	平成19年度	63,400千円 (経常利益	2,680千円)
	平成20年度	64,200千円 (経常利益	4,160千円)

(9) 社長略歴 久下 雅幸 (クゲ マサユキ)
ヴィンキュラム ジャパン株式会社 ストアシステム事業部

平成4年3月 流通科学大学 商学部 流通学科 卒業

平成4年4月 株式会社マイカルシステムズ 入社

(現 ヴィンキュラム ジャパン株式会社)

以 上

< 参 考 >

VJCベンチャープログラム（VVP）の概要について

当社は、平成 18 年 4 月 11 日より「VJCベンチャープログラム」を導入いたしました。

「VVP」の導入は、当社の経営理念の一つである「常に向上をめざす人々に向上の機会と力を発揮できる舞台、努力と成果が報いられる制度を個人と企業の成長ベクトルの一致をめざす」に基づき、社内公募によりベンチャー事業の提案を募集し、これを独立会社化することで、夢の実現による社員個人の自己成長と企業成長をつなげることを目的としております。

この制度は、当社の事業ドメインのうち、将来的に有望且つ重要でありながらタイムリーな事業化が難しい分野での新規事業化を促進し、創造性、挑戦的な組織風土の形成を目的としたものであり、当社からは資金や管理機能面の支援を行い、会社設立・運営は提案者自身が責任をもって遂行していく制度であります。

【制度概要】

- 1．応募資格 : 社員、嘱託社員（年齢、勤続年数、職種等にかかわらず）
- 2．対象事業 : 当社の事業ドメインに係わる新規事業
- 3．資金 : 新会社は 1 件当り最大 1 億円の資本出資（融資額を含む）。
なお、当社出資比率は原則として 2 / 3 以上。
- 4．事業化形態 : 原則として新会社を設立。
- 5．事業化手順 : 書類審査 プレゼンテーション・面接 経営会議での審査
取締役会で事業化決定 事業支援継続の審議（1 年に 1 回）
事業継続

以 上